

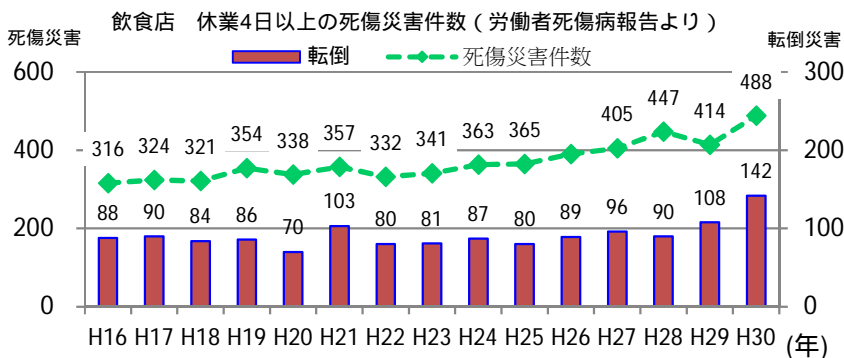
安全掲示板用資料（飲食店）

今日も一日ご安全に

大阪における平成30年の休業4日以上の死傷災害8972件のうち2256件が転倒災害となっています。

また、飲食店においては、休業4日以上の死傷災害488件のうち転倒災害が142件発生しています。なお、転倒災害の**59.9%**が休業**30日**以上となっています。

飲食店の死傷災害発生件数は、近年増加傾向にあります。



転倒による死亡災害事例

30年10月 小売業 40歳代

路上に落下した屋根（金属製折板）の撤去作業中、台風風の風により後ろ向きに転倒し、後頭部を打ち被災したものの。

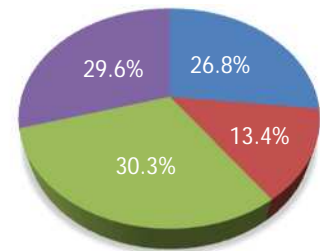


災害事例（飲食店・転倒災害）

- ・床に放置されたダンボールの上を歩き、すべって転倒した。
- ・洗浄機前に積み上げた食器を跨いだ時、つまずき転倒した。
- ・作業中、ピールケースにつまずき転倒した。
- ・厨房内の床が水に濡れており、すべって転倒した。
- ・店内フロアで、雨天で濡れた床ですべって転倒した。
- ・ガスコンロ前の床が油で濡れており、すべって転倒した。
- ・厨房内で、床清掃用のホースにつまずき転倒した。
- ・清掃のため、外していたグリストラップにはまって転倒した。
- ・調理中、ズボンの裾が冷蔵庫の角に引っ掛かり転倒した。
- ・帰宅時、駐車場の車止めにつまずき転倒した。

平成30年 転倒災害での休業日数

■ 4～14日 ■ 15～29日
■ 30～59日 ■ 60日～



転倒災害の**59.9%**が**30日**以上の休業日数となっている。

たかが、「すべった・転んだ」ですが、作業中の転倒災害は、長期に渡る休業となる事例が多く発生しています。

転倒災害防止対策のポイント

- ・作業所内で安全通路を確保すること。通路に物を置かないこと。
- ・耐滑性のある作業靴を履くこと。靴底の摩耗状態を確認すること。
- ・油作業周りに、油吸着マットを敷き、油の拡散を防ぐこと。
- ・清掃作業時に作業場所への立ち入り禁止措置を明確にすること。
- ・作業場所や通路に突起物や、障害物はないか確認すること。
- ・駐車場内など屋外の夜間の照度を確保すること。
- ・駐車場の車止めを着色するなど、注意を促す表示をすること。



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

※ 問題のあったポイントは改善しましょう

厚生労働省では、「STOP！転倒災害特設サイト」を開設しています！

STOP！転倒

検索